

Mランドニュース Vol.208

丹波ささ山校 令和6年8月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 前川 昂希
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

どんなことでも、「これはダメだ」とあきらめるのではなく、「ではどうするか」と考えることに大きな意味がある。

野口 健

サイクルフェスタ

七月七日、サイクルフェスタを開催しました。事前の天気予報では、梅雨の影響で開催が危ぶまれていましたが、当日は予想を覆す快晴で真夏日になりました。

三十三名の方にご参加をいただき、大変暑い中でのサイクルフェスタとなりましたが、無事に終えることができたことに感謝申し上げます。

ライディングスクール

責任者 前川 昂希

ライディングスクールを終えて嬉しかったことが三つあります。一つ目は、予定していた定員数にあっていう間に達したことでした。正直なところ、ここまで早い反響があるとは思っておらず、Mランドをこんなにたくさんの方々が見て下さっていることが本当に嬉しくおもいました。

二つ目は、定員数に達して申し込みできなかった方が、当日キャンセル枠があるかどうかも分からない状態にもかかわらず、Mランドにお越し下さったことです。

二年程前に卒業された方だったのですが、「見学だけでもさせていただけませんか？」と私に声を掛けてくれました。

たまたまキャンセル枠がありましたので、「是非参加してください！」と即答すると、すごく喜んでいただけました。また、Mランドのライディングスクールを受けたいと思っていただける気持ちに胸が熱くなりました。三つ目は、ご参加いただいた方々がすごく生き生きと楽しそうにバイクに乗っておられ、終了後に「楽しかったです！また絶対開催してください！」と口をそろえて伝えて下さったことです。



この日まで、どうすれば楽しみながら、バイクのスキルアップと無事故に繋げていくことができのかを、悩みながら毎日考えていました。皆さまからいただいた笑顔と感謝の言葉が、

暑さや苦勞を吹き飛ばしてくれました。

つぎの機会も、楽しみながら学べるライディングスクールを企画し、全力でみんなが成長したいと思えます。

自転車教室

責任者 谷口 健

自転車教室には、幼稚園児から小学生までの十三名が参加してくれました。

非常に暑い中での開催でしたが、私の話をうなずきながら真剣な表情で聞いてくれる姿、たくさん汗を流しながらも、楽しそうに自転車に乗っている子供たちの姿をみて感動したのと同時に、「本気で伝える」との大切さをあらためて感じました。



自転車教室に参加していただいた証に、安全運転の想いを込めた「自転車免許証」を子供たちに交付しました。初めて手にする免許証を嬉しそうに受け取る子供たちの笑顔に、私も嬉しくなりました。

これからも元気に楽しく、そして何よりも安全に自転車を運転していただければ幸いです。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

ナンバーワンの日

共習・共育部長 南勝 宏幸

毎年七月一日をMランドでは「ナンバーワンの日」として、職員研修を実施しております。今回の研修では初心に戻り、「礼儀礼節」について改めて確認しました。



少し遅りますが、平成十七年五月二十七日に、「Mランド

丹波ささ山校」としてスタートし、ゲストの皆さまを第一に考え、教習の際の礼儀礼節に力をいれて行いました。

単なる礼儀礼節ではなく、「Mランドにお越しいただきありがとうございます」というお客様に対する敬意と感謝の気持ちをお伝えするために、ゲストの前で立ち止まり、お辞儀をして教習を始めています。

また、「あなたの運転が私の運転です」というか、たった一つのかげがえのない生命を大切にしましょう」という想いも込めています。

お越しいただいたゲストの皆さまが気持ちよく教習を始められるようにすることで、インストラクターの説明や私たちの想いを素直に受け入れていただき、安全な行動につながると考えております。

この夏も暑くなりそうですが、心も熱くゲストの皆さまと共に成長していきます。

【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にトイレ掃除をしませんか？

- 場所 Mランド
- AM8:00~AM9:00

※トイレ掃除のできる服装でお気軽にご参加ください。

富士登山研修

七月十日、十一日に「コガワグループ富士登山研修」が実施され、全体で十一名が日本の山「富士山」登頂に臨みました。ささ山校からは、富士登山未経験者の三名と過去に登頂歴のある者と合計四名で参加してきました。

あいにく、富士登山中は嵐のような天候で登頂することはできませんでしたが、参加者それぞれが何かを感じ、何かを得られた研修となり、大変有意義な富士登山となりました。



富士山が開山してからまだ間もないですが、今年は異常事態と言われるほど多くの方が登山中にお亡くなりになられています。お亡くなりになられた方々に心からご冥福をお祈りいたします。

ここからは、富士登山研修に参加した四名の感想を抜粋してお伝えさせていただきます。

後藤 茂

暴風雨に加え、気温が低く酸素も薄くなり、時間が経つにつれ疲労が蓄積し、自ずと下向きな姿勢になってしまいますが、ガイドさんの一声で何度も救われました。

途中、低血糖状態となり意識が飛んでしまう場面もありましたが、ガイドさんや仲間に加えてもらいながら、山小屋まで無事到着しました。

山小屋では温かい部屋で寝食ができることなど、「日常」の幸せを感じる事ができ、何気ない生活がいかに大切かという事を、実感することができると登山の魅力だと思えます。

下山する際、私の前を歩いていた年配の女性が、登山者として励ましの言葉をかけておられ、相手も笑顔になっていたので、**「ことば」と「笑顔」の力は本当にすごいと感じました。**

Mランドでも、発する「ことば」の一言でお客様に大きな影響を与えます。「ここにきてよかった!!」と笑顔で卒業を迎えていただけに、富士登山に

いただいたように、富士登山で得られたことを糧にして、これから取り組んでまいります。

前川 昂希

益田校から今回の知らせを聞いたときに、すぐに参加を決めました。理由は日本一の山に登ってみたいという「好奇心」です。年々好奇心が薄れていることを実感していましたが、久々に心がワクワクしました。

出来得る限りの準備をしましたが、今回の富士登山を通して、準備の大切さと仲間の存在のありがたさ、そして自然の美しさと同時に怖さを感じました。

初めての富士登山は、ものすごく悪天候で、登頂はできず心残りですが、考え方を変わるとまた来年チャレンジできるので、もうすでに引き返した先の道や景色がどんなものなのか、楽しみでワクワクがとまりません。必ず来年はリベンジ登頂を果たしたいと思えます!!

大澤 竜貴

富士登山は、すべてが初めてのので想像も出来ず、不安が

直前まで募っておりまして。様々な情報を集め、万全を期して臨みましたが、五合目に到着しバスから降りた段階でその重要性を実感しました。

初めての登山とあまりにも過酷な天候も相まって、更に不安が増しましたが、協力し合える心強い仲間のおかげで、心躍る自分もいました。

いざ登り始めると、慣れない路面で歩きづらく、すぐに疲れが出てきましたが、仲間の背中中に勇氣と元氣をもらいながらなんとか山小屋まで到着しました。大変疲れていたのと、空腹状態であったため、山小屋でいただいたカレーがとても美味しく感じました。実は普段カレーは苦手です。(笑)

深夜、ガイドさんから「登頂は中止になりました」と報告があり、非常に残念に感じましたが、「命」には代えられません。ご来光は見られませんでした。が、それ以上にコガワグループの仲間と深い絆を築けたことが、大きな収穫となりました。

鹿嶽 加奈

五月二十九日の朝礼で「富士登山研修」という言葉を聞いたときの衝撃は忘れられませ

ん。最初は来年もし機会があれば参加しようと思っていたのですが、先輩の熱心なお誘いや、Mランドのコースに掲げられている「人生二度なし」の石碑に背中を押され、参加を決意しました。「人生二度なし」という言葉に改めて向き合い、新しいことにチャレンジする大切さを感じました。そして、人生の最期を迎えるときに「この人は面白い人生を送ったね」と言われるような生き方をしたいと強く思いました。

準備期間も充実しており、普段あまり話さない同僚が登山の趣味を持っていることが分かり、その方からアドバイスをいただくなど、とても楽しい時間を過ごすことができました。

実際に富士山に登ってみると、興奮を抑えきれず、集団行動のため遅れないようにと無理をしてみたい、倒れそうになることもありました。しかし、多くの方々にサポートしていただき、無事に下山することができました。

この長旅はとても有意義なものであり、これからもおもてなしの心を持った教習を行うために頑張ろうと再認識しました。

編集後記

七夕に合わせて、ゲストやサイクルフェスタにお越しいただいた子供たちに、楽しんでいただきたいという想いで、館内に大きな竹で七夕飾りを作りました。受付に短冊を用意していると、思い思いの願いを書き、笹の葉に吊るしていました。皆さまの、願いが叶いますように。

前川 昂希

